



平成 20 年 9 月 16 日

各 位

会 社 名 サイオテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜多 伸 夫
(コード番号 3744 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員財務経理部長 小林 徳太郎
電 話 0 3 - 6 8 6 0 - 5 1 0 5

レッドハット株式会社との新規契約締結に関するお知らせ

当社は本日の取締役会において、平成 19 年 5 月 1 日にレッドハット株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：廣川 裕司、以下「レッドハット」）との間で締結している Distribution 契約について、下記のとおり内容の変更を行い、新たに契約を締結することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. Distribution 契約の内容変更の背景

当社は今期、従来からの Linux 関連事業、Java 関連事業という事業セグメントを、オープンシステム基盤事業、Web アプリケーション事業に拡大し、オープンソースソフトウェア（OSS）の開発と利用を軸に業容の拡大を図っています。

このたび、当社はその戦略に則り、レッドハットと、同社のミドルウェア製品「JBoss Enterprise Middleware」の販売協業体制の強化、及び、レッドハットが提供するエンタープライズ向け Linux オペレーティングシステム（OS）「Red Hat Enterprise Linux」の販売とサポートに関する体制変更を含む新たな Distribution 契約の締結を決議いたしました。

2. Distribution 契約の変更点

(1) 契約期間は平成 20 年 10 月 1 日から 2 年間。

(2) レッドハット製品に関する協業内容の変更

① JBoss 製品における新たな取り組みの強化

当社は、「JBoss Enterprise Middleware」のビジネスを事業の柱の一つとして育てていくため、同製品の導入に携わるエンジニアの育成とオープンソースによる業務システム開発に積極的に取り組みます。当社は JBoss エンジニアを積極的に育成することで品質の高い技術支援を行うと同時に、営業およびマーケティング分野においてもレッドハットと積極的な連携を行い、両社でオープンソースミドルウェア市場の拡大を目指します。

② Linux 製品の提供内容の変更

レッドハットの販売戦略およびサポートサービス方針の変更に伴い、当社がレッドハットの Linux OS 製品に独自のサポートサービスを付加して提供している「Red Hat Enterprise Linux Plus」の販売・サポートビジネスを終了し、レッドハットの標準製品である「Red Hat Enterprise Linux」の販売のみを継続します。当該標準製品では、サポートサービスは製品提供元であるレッドハットが直接ユーザーに提供します。

3. レッドハット株式会社の概要

- (1) 本店所在地 東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
- (2) 代表者 廣川 裕司
- (3) 設立年月 1999年9月
- (4) 資本金 1億円
- (5) 事業内容 レッドハット株式会社は、米国ノース・カロライナ州ラーレーに本社をおく、エンタープライズLinuxの世界的なディストリビューション Red Hat, Inc. の日本法人です。オープンソースを基盤として、組込み系からエンタープライズサーバまで対応する普遍的なプラットフォームとサービスを提供しています。

4. 日程

- 平成20年9月16日 新契約締結
 - 平成20年10月1日 契約効力発生（予定）
- なお、「Red Hat Enterprise Linux Plus」の販売は10月8日までとなります。

5. 今後の見通し

- (1) 当期業績（通期）への影響
本件が当期の業績に与える影響は軽微であり、平成20年7月25日付で公表しております業績予想から変更はありません。
- (2) 来期以降の業績（通期）への影響
来期以降への影響については、現時点で市場動向等を予測することは困難であるため、当下半期の販売状況を勘案の上で次期の見通しを策定する予定です。

以上